

～信号機のない横断歩道での事故防止～

“ハンドサイン運動”を推進しましょう!

～手を上げた場合の横断歩道における停止率はなんと**約9割!!**～

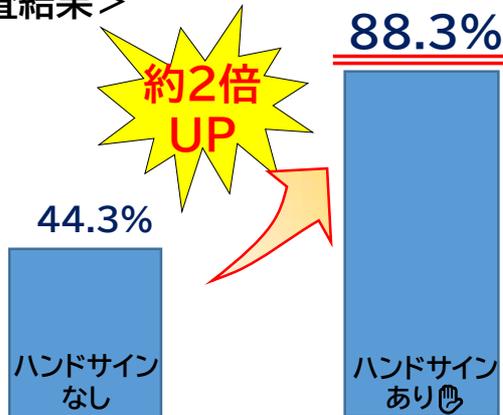
◇ 県警独自※の信号機のない横断歩道における停止率調査等の実施結果

<調査方法>

- ・ 横断歩道の直前に立ち、通行する車両の停止回数を調査
- ・ 手を上げない場合(ハンドサインなし) (各100回)と手を上げた(ハンドサインあり)場合(各20回)で実施

(※) JAFの調査条件を参考に本年2月、県内3カ所で行った調査結果

<調査結果>



県警 (R7年2月)

- 横断歩行者が手を上げない場合では**約4割**が、手を上げた場合では、**約9割**の車両が停止

- 停止率の比較では、手を上げると停止率が**約2倍UP!**



<調査時のドライバーの特徴>

◎ 停止するドライバー

- ・ 横断歩道に接近する前に**早めに減速する**
- ・ **制限速度を守って**走行している

● 停止しないドライバー

- ・ 会話に夢中になって**歩行者に気づかない**
- ・ 歩行者に気づくものの**速度が出ているため止まらない**

◇ ハンドサイン運動の推進

○ 運転者は

横断歩道の手前では**減速**し、**広い視野**を確保して、周囲の安全を確認しましょう!

○ 歩行者は

横断歩道を横断する際は、**ハンドサイン**で横断する意思を伝え、車が止まるのを確認してから安全に横断しましょう!

<ハンドサインとは👏>

通行する車両の運転者に対し、アイコンタクトと併せて、手を上げる、振る、かざすなど、横断の意思を示す自身の手による全てのジェスチャーをいいます。

横断歩道上の交通事故を防止するため、地域や職場、学校などでハンドサイン運動を推進しましょう!

